

カヤバNEWS

AT 用ベーンポンプを開発 (低フリクション化によりロストルクを 20%低減)

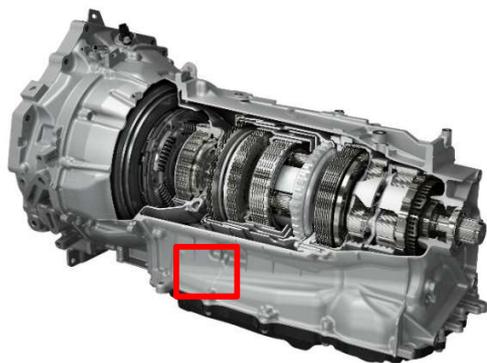
当社はマツダ株式会社様の新型SUV^{注1)}に搭載されるAT^{注2)}用ベーンポンプを開発しKYB金山(株)にて量産を開始しました。本品の搭載車は2022年より販売を開始されています。

今回開発したベーンポンプはカヤバで初の AT(ステップ AT)用であり、現在当社が量産しているCVT^{注3)}用のポンプをベースにしなが、CVTとはポンプの使用条件の異なるATに最適となるよう全ての構成部品を一から見直し開発を行いました。

注1) Sport Utility Vehicle(スポーツ用多目的車)のこと。

注2) Automatic Transmission(自動変速機)のこと。

注3) Continuously Variable Transmission(無段階変速機)のこと。



マツダ株式会社様 AT 外観※

※マツダ株式会社様の利用合意を受けています。
他への転載、転用を一切禁ずる。



AT 用ベーンポンプ

CVT と比べて必要油圧が低い AT に合わせ必要な耐久性を確保しながら最大限の低フリクション化を行い、従来品と比較しロストルクを 20%低減しました。ロストルクの改善に際しては当社初採用の薄型(従来比 29%減)のベーンを採用するとともに、他部品も摺動面積を極力減らすことで低フリクション化を実現しました。今回開発した低フリクション化の技術は搭載車両の燃費改善や CO2 排出量削減による環境性能向上に貢献するだけでなく、今後当社が開発するポンプ製品にも適用することでより多くの製品で省エネによる環境改善への貢献が期待できます。

詳細は「カヤバ技報 第 66 号」を参照ください。

https://www.kyb.co.jp/technical_report/data/no66j/product-introduction_02.pdf

【本件に関するお問合せ先】

広報 IR 室

TEL:03-3435-3552

以上